

夫の離婚動機 (司法統計より)

	1985年	2014年
1	性格が合わない	性格が合わない
2	異性関係	精神的虐待
3	同居に応じない	異性関係
4	親族と折り合いが悪い	親族と折り合いが悪い
5	家族を省みない	性的不満
6	異常性格	浪費
7	浪費	同居に応じない
8	精神的虐待	暴力をふるう

夫の態度にキれる妻、妻の言葉におびえる夫――。今、日本の夫婦に異変が起きています(NHK クローズアップ現代・6月7日放送より)。

先月発表された国の調査で、離婚件数が5年ぶりに増加。中でも急増しているのが、妻から精神的虐待を受けたと夫が離婚を申し立てるケースです。



第 63 号

編集発行 真宗大谷派 **本龍寺**
安城市和泉町
TEL.0566-92-0505

和泉の本龍寺 検索

表は夫の離婚動機の変化です。注目されるのは、30年前に第8位だった「妻からの精神的虐待」が昨年は第2位に急浮上したことです。番組が全国の既婚男女に行ったアンケートでは、妻を「怖い」と感じている夫が多く存在していることが明らかになりました。

怖い理由として、「妻が家庭の実権を握っていて逆らえない」、



「いつもイライラしていて怒られる」ことを挙げています。ところが一方で「なぜ妻が怒っているのか理由が分からない」とも答えているのです。

全国の専業主婦世帯が687万世帯に対して、共稼ぎ世帯は約1.5倍の1114万世帯。今や働く女性の方が多数派なのです。夫は収入が目減りしている中で長時間労働は相変わらず。妻は仕事に加えて家事や育児もこなさねばならず、「強烈な不公平感」が夫への恨みのような感情につながっているというのです。

「家庭のことを全部担っている割には評価されていない」という妻の思いが夫と共有されて、自己効力感(「自分が世の中にこれだけ役に立っているとか、誰かにこれだけ影響力を及ぼしているという感覚)に満たされるのが一つの解決法になるのではないのでしょうか。

番組を見ていて、昨今の謝罪会見について考えます。政治・事件・不倫など多くの謝罪が連日報道されています。そこでは「世間をお騒がせしました」という、誰に対して何を謝っているのか分からない言葉が多用されます。それに対して、何の利害もない大多数の人々が一斉に声を上げて攻撃したり、ネット社会で炎上したりします。当事者は謝罪の後、「世間」から身を

隠すことを余儀なくされ、まさに「一発レッドカード社会」の様相です。謝罪とは、一発退場をイエローカードに留めるためにするものなのかも知れません。

気になるのは、攻撃する人々に「自分も謝罪する立場になるかも知れない」という想像力が欠けていること。自分だってミスもするし、ひよっとしたら加害者になってしまうかも知れません。そのことは考えないで、頭を下げている人を無条件に排除しようとする風潮に危うさを感じます。

自分を抜きにして他を批評する「非難」と、そこに痛みを持って語る「批判」は別ものだと教わりました。決定的な違いは「決して人ごとではない」という想像力の有無。「自分もどこか似たところがある」という痛みが、人を切り裂く言葉を呑み込ませます。仏法を聞くことは、この想像力を磨くことだと考えます。

先の番組の本質は、妻の不满に思いを馳せたり、なじられた夫の胸中を察するといった想像力の欠如にあります。悩み苦しみを補い合っただけで済む、夫婦二人の深い人生があるという想像力が、問題を超越する鍵だと思うのです。

先月発表された国の調査で、離婚件数が5年ぶりに増加。中でも急増しているのが、妻から精神的虐待を受けたと夫が離婚を申し立てるケースです。

京都・ご本山報恩講での **11月18日**
 お華東(けそく)は一宮市と稲沢市内の
 門徒で作る「中島郡会」が納めています。
 信行寺さんを見学してきました。

**東本願寺
 お華東見学会**



役目を全うした墓石等
 の石塔磨きと追弔会



**共同墓碑
 浄行と追弔会**
 平成26年11月18日

行事写真報告

昨年11月から
 今年6月まで

午後から近江八幡を散策
 ↓「あさが来た」ロケ地



**本山報恩講
 参拜**
 11月24日



同朋婦人会は第27代
 会長(左)から28代へ



報恩講

12月3・4・5・6日 九座

4日間のご法話は
 八神正信師 <3日>
 本多雅人師 <4日>
 藤原千佳子師・都築直市師 <5日>
 渡邊尚子師 <6日>の熱弁でした



↑子ども報恩講 ↓御伝鈔拝読





新年修正会

平成27年
1月1日



← 除夜の鐘

春季彼岸会・永代祠堂法要 3月19・20日



ご法話は八神正信師〈19日〉と
久々ご来寺の渡辺愛子師〈20日〉



味噌作りの会

2月
1・3・12日



4月19日 子ども花まつり・誕生児初参り式



子ども上山

3月23日



歴代婦人会追弔会と酒井義一師のご法話
子ども食堂などの実践をしているが故の
説得力あるお言葉に
元気がもらえました

春の法話会 6月2日



新役員報告

■第28代同朋婦人会■

杉本あきえ
早川真知子
神谷咲枝
沓名千枝子
山口順子
高野あきえ
三浦美奈子
石川道江
沓名美代子
沓名久枝
沓名比登美
神谷まち子



会計 杉浦和美
会計 沓名令子
会長 沓名政子
副会長 早川君子
会計 早川利江
会計 杉浦洋子



■廿日会■

会計 神本京子
会長 奈倉房子
副会長 石川みつ代
会計 神谷久美子



■正信会■

会計 沓名鶴子
会計 三浦香代子
副会長 早川喜代子
会長 沓名憲子

※任期は、平成28年1月1日～平成29年12月31日までです
※氏名の敬称は省略しています
※恵信尼会・お灸の会・仏華の会の役員さんは継続就任頂いておりますので省略しました



■根育ての会■

代表 鳥居宏美
代表 岩瀬かおり



■みどりの会■

副会長 沓名立子
会長 杉浦陽子



お灸を楽しむ会
毎月13:30 19:30



正信会 毎月13:30
ご講師は月ごとによります



廿日会 = 正信偈を学ぶ会
毎月19:30 荒山 淳 師



自然食料理教室 事前申込制
毎月9:30 岡戸裕子 師



写経の会 法話テープ聴きながら
毎月10:00 13:30 19:30



根育ての会
毎月10:00 住職

毎月例会点描

平成27年度本龍寺「一般会計」収支決算報告 〈平成27年4月1日～平成28年3月31日〉

【収入の部】

項目	金額(円)	備 考
繰越金	2,021,730	前年度より
奉 讃 志	1,682,050	一戸2,500円(原則)×702戸、以前の「初穂志・報恩講志」
秋季彼岸会	496,916	平成27年9月22・23日、当日受付214件+賽銭
報 恩 講	638,252	平成27年12月3・4・5・6日、当日受付251件+賽銭
春季彼岸会	510,600	平成28年3月19・20日、当日受付224件+賽銭
申 し 経	368,492	法話会申し経の残金
賽 銭	402,268	本堂内分
助 成 金	7,500	安城市より樹木保護3本分
受 取 利 息	135	JA・郵便局の預金利息
雑 収 入	827,393	墓地会計回付受金、定期預金解約、追弔会報徳会ご仏前、借地料、他
合 計	6,955,336	

【支出の部】

項目	金額(円)	備 考
秋季彼岸会費	305,117	講師礼、お斎費用、他
報 恩 講 費	846,312	講師礼、お斎費用、他
春季彼岸会費	344,260	講師礼、お斎費用、他
法 話 会 費	236,907	暁天講座講師礼、東日本追弔会、講師礼源泉税、他
宮 繕 費	416,910	境内樹木剪定、浄化槽点検、本山第二種共済、下水道工事負担金、他
教 化 費	539,656	新聞『聞』印刷費送料×2回、法語カレンダー@150円×1,300部、他
消 耗 品 費	315,360	色上質紙、コピー紙、インク、他
賦 課 金	188,400	宗費賦課金、教区費、組門徒会費、仏教徒総代会費、組坊守会費
仏 華 費	225,880	花材費、仏華の会お礼
荘 厳 費	198,638	沈香、焼香用香、朱蠟燭、献灯用蠟燭、お仏供米2俵、鏡餅
水道光熱費	144,797	外灯電気代、プロパンガス代
追 弔 会 費	157,837	寺役物故者追弔会費
子ども会費	112,266	花まつり、イモ苗代、夏の集い、日曜学校皆勤賞記念品代、他
会 議 費	123,236	決算報告会、世同集会、寺役会、同推会、同朋婦人会定例会、他
補 助 費	100,000	同朋婦人会活動費
慶 弔 費	5,000	香典0件、見舞1件
備 品 費	853,200	輪転機DP-F650購入費
雑 費	162,005	境内清掃茶菓子代、佛具磨剤、掲示写真代、講師部屋花代、他
繰越金	1,679,555	次年度へ
合 計	6,955,336	

《一般会計積立金現況》

科 目	金額(円)	備 考
定 期 預 金	1,000,000	JAあいち中央安城南支店 No.……48

真宗大谷派 本龍寺 本堂建設委員会だより

第3号
第1・2号は
別紙配布済

												平 28	平 27											
6 18	6 4	6 3	5 29	5 25	5 11	4 27	4 20	4 18	4 12	4 2	3 16	3 2	2 27	2 24	2 17	2 12	1 21	1 14	12 29	12 21	11 13	10 30	10 20	10 10
桜井町下谷説明会												建設委員会発足												
桜井町中開道説明会												他寺院見学会												
第14回建設委員会												第2回建設委員会												
桜井町印内説明会												第3回建設委員会												
第13回建設委員会												他寺院見学会												
和泉町内募財開始												建設委員会口座開設												
第12回建設委員会												第4回建設委員会												
委員会便り①発行												第5回建設委員会												
建設顧問会												建設趣意書配布												
建設業者決定												第6回建設委員会												
建設業者ブレゼン												建設業者現場説明会												
第9回建設委員会												建設内容説明会①												
第8回建設委員会												建設内容説明会②												
第7回建設委員会												建設内容説明会③												

◆ 主な会議等の経過報告 ◆

◆ 行程表 ~2016年6月現在の予定~ ◆

工事 年月	設計 図	解体	基礎	木工	屋根	内外装	電気	給排水	仏具	本龍寺 年中行事
平成28年	08	見積契約								お盆13~16
	09									秋彼岸21・22
	10		本堂				遮断	止水		秋法話会28
	11			地盤改良・コンクリ打						共同墓碑
	12									報恩講1~4
平成29年	01									修正会1
	02									
	03									春彼岸19・20
	04									花まつり
	05									春法話会
	06				立柱・上棟					上山研修
	07									暁天講座
	08									お盆13~16
	09									秋彼岸22・23
	10				瓦葺・漆喰・軒樋					秋法話会
	11						配線・分電盤・器具取付・通電	配管・量水器・器具取付・給水	測量	共同墓碑
	12					サッシ・塗壁・塗装・畳				報恩講7~10
平成30年	01									修正会1
	02									
	03									春彼岸20・21
	04									花まつり
	05									春法話会
	06									帰敬式上山
	07									暁天講座
	08								搬入	お盆13~16

◆ 決定された業者 ◆

本堂 解体	(有) 立希 安城市和泉町
本堂 建設	(株) 魚津社寺工務店 名古屋市中川区
内陣 修復	(株) 若林佛具製作所 京都市下京区七条通



「今の本堂を記憶と記録に残そう」
5月に開催された本堂写生大会

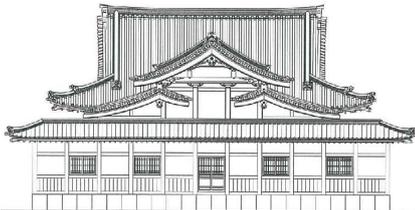
◆ 落慶行事予告 ◆

<p>本堂落慶奉告法要 親鸞聖人750回御遠忌法要 稚児行列 落慶各種イベント</p>
<p>平成31(2019)年 3月下旬~4月中旬頃 〈内容・期間など詳細は検討中〉</p>

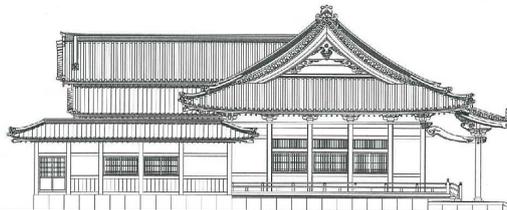


◆ 完成イメージ図 ◆

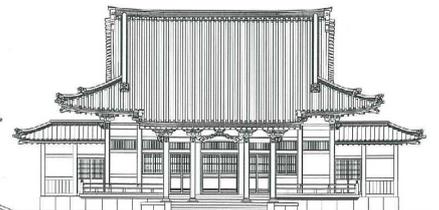
◆ 後方図〈西面〉◆



◆ 側面図〈南面〉◆



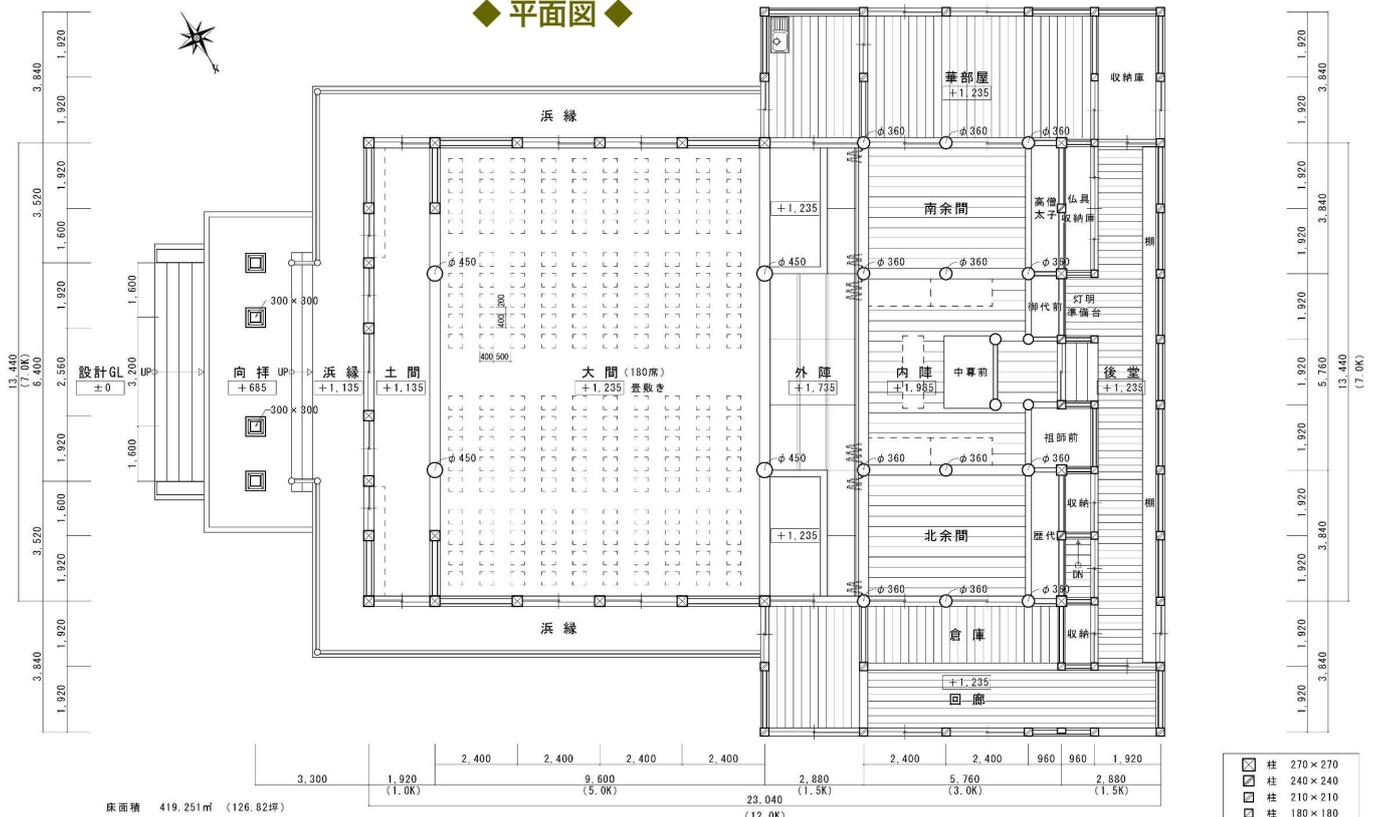
◆ 正面図〈東面〉◆

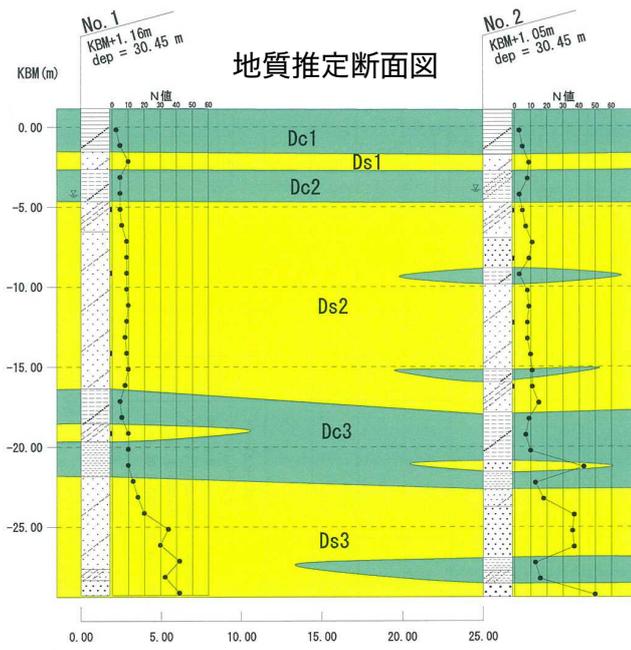


◆ 設計仕様 ◆

- ①規模構造 間口7間×奥行10間（身舎）
三方庇付、木造・撞木造流れ向拝付
柱頭装置；和様出組 二重垂木
基礎；鉄筋コンクリート造
- ② 柱 身 舎；丸柱 檜・桧
- ③屋根 三州製日本瓦 身 舎；丸平一体型本瓦葺
庇屋根；棧瓦葺
- ④外壁内壁 原則として漆喰塗り仕上げ
- ⑤天井 内陣 ；折上小組格天井
余間・外陣・大間；格天井

◆ 平面図 ◆

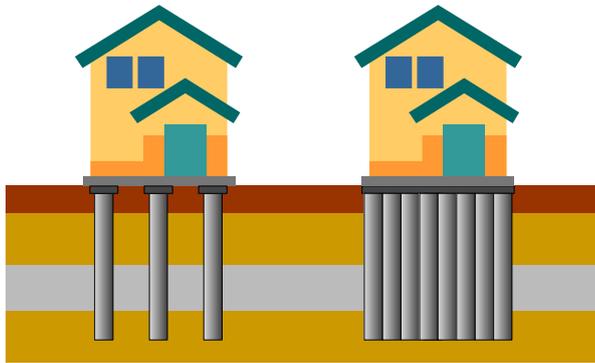




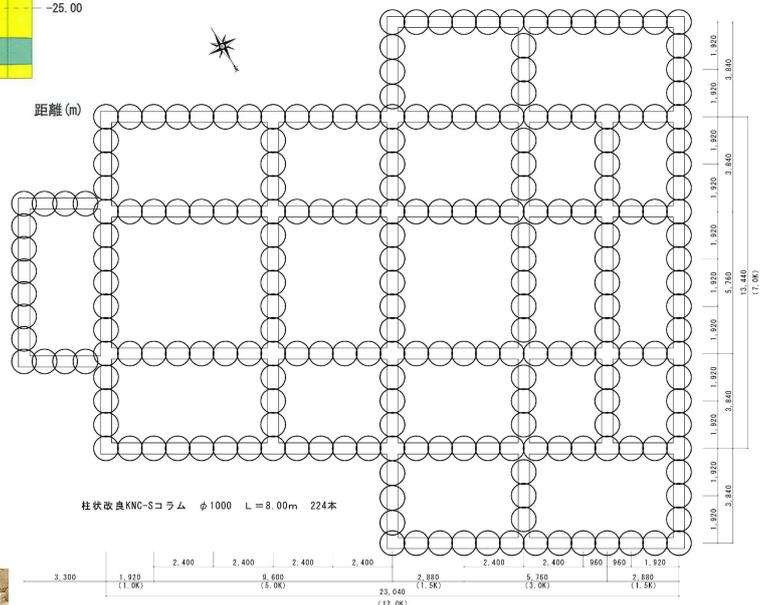
◆ 地盤改良 ◆

新本堂は「今後予想される巨大地震にも耐えうる堅牢な建物であること」を第一に考えます。そのため本年1月、敷地内2カ所深さ30mのボーリング調査を行いました。結果、当地の地盤は洪積世後期の碧海層であり、液状化発生の危険度は低いものの、強固な支持層に乏しいことが判明しました。

そこで土の中にコンクリートの柱を作る「柱状改良工法」を採用します。直径1m長さ8mの柱を224本、壁のように隙間なく設置します。



一般的な柱状改良 今回採用する工法



第63号をお届けします。子ども日曜学校で「お寺の宝物」の話をしました。それは仏さまの教えから頂く「智慧」です。この宝物をもらうと、今まで気づかなかったことが見えたり、思い違いしていたことが分かったりします。宝物を一人でも多くの次の世代に伝えたいと思います。(頼)

第9回 9月4日(日) 14:00~21:00

会場 本龍寺 本堂・同朋会館・境内

内容 正信偈・住職法話・バーベキュー・ほか

対象 25才以上の結婚を真剣に考えている方

詳細 詳しくは拙寺のHPをご覧ください



お寺で婚活 2016

洋